

# 平成29年6月：第403回 大野市議会定例会

## 一般質問

6月12日（月） 午前

質問者	質問方式	質問概要
宮澤（誠和会・公明党）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 道路について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成10年4月に都市計画決定されている県道皿谷・大野線の国道157号バイパスまでの延長について、都市計画決定された理由は何か。 また現在の進捗（しんちよく）状況と今後の対応をどのように考えるか。</li> <li>○ 通学路について 通学路はどのようにして誰が決めるのか。通学路の安全確保のため、危険個所の検証等を行う必要があるが、今後の対応を聞きたい。</li> </ul>
		<p><b>2 自転車を活用したまちづくり等について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この事業の目的は何か。</li> <li>○ 高齢者は自転車を利用しているが、自動車運転免許の返納状況はどのようなものか。 また返納に伴い乗合タクシー等の交付制度があるが、状況はどうか。</li> <li>○ 高齢者の自動車事故が多発する中で、事故を少しでも早目に予防する必要があるが、自転車購入時の補助に対する考えはどうか。</li> <li>○ 自転車を観光客、市民が乗り捨てできるシステムを考える必要があると思うがどうか。</li> </ul>
		<p><b>3 防災について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東日本大震災等の際、避難の対応が問題となったのはトイレ等の衛生環境面、そして食料、飲料水の不足であったが、これらの対応はどうか。 また障害者や高齢者の避難をどのように考えているのか。</li> <li>○ 福島県は本年3月31日をもって全国に自主避難をされている方への住宅の無償提供を打ち切ったが、本市としての今後の対応を聞きたい。市民の不安の対応はどうか。</li> <li>○ 市民の不安は河川にもあるが、その対応はどうか。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
高田（天空おおの）	一問一答方式	<p><b>1 まちづくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2期大野市中心市街地活性化基本計画の進捗（しんちよく）状況をお尋ねする。</li> <li>○ 景観まちづくり事業についてお尋ねする。</li> </ul>
		<p><b>2 中部縦貫自動車道、大野ICから福井北ICの開通について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中部縦貫自動車道の大野ICから福井北ICの開通が本市の経済にどのような影響があるか、考えをお尋ねする。</li> <li>○ 本市として開通に伴いどのような変化、もしくは影響を分析されているかお尋ねする。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
野村（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 大野市小中学校再編について</b></p> <p>○ 市長は「今回の再編計画は、将来像として最善・最良だと思うので行政として努力していきたい」と発言しているが、今後どのようにするつもりなのか。</p>
		<p><b>2 大野市情報公開制度の充実について</b></p> <p>○ 学校教育審議会の議事録を、審査会から「公開が相当」との答申を受けたにもかかわらず、非公開とした事は極めて異常だ。大野市の情報公開制度はどのようなになっているのか。</p>
		<p><b>3 就学援助制度について</b></p> <p>○ 準要保護世帯の新入学児童生徒学用品費、入学準備金の支給が8月になっているのを入学前に支給する事に対し、既に実行されている越前市の調査を行うとしていたが、調査を行ったのか。</p> <p>○ 要保護世帯及び準要保護世帯への入学準備金の支給額が足りているのか、いないのか、市内の小中学校の入学に必要な学用品費の実態調査をするべきだと思うがどうか。</p>
		<p><b>4 子育て支援について</b></p> <p>○ 小中学校の給食費は無料にするべきではないのか。</p> <p>○ 子どもの医療費の一部負担金 500 円を無くして、完全無料にしてはどうか。</p> <p>○ 医療費を高校卒業まで無料に拡充してはどうか。</p>
		<p><b>5 国民健康保険について</b></p> <p>○ 国民健康保険の運営が来年度、都道府県に代わることによって市民への影響はないのか。</p>

質問者	質問方式	質問概要
松原（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 小学校、中学校における具体的な学習について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学級当たり生徒数が何人から複式学級になるのか。中学校では複式学級にはならないのか。</li> <li>○ 現在、大野市内で複式学級を取り入れている学校は何校あるのか。</li> <li>○ 複々式学級になることはあるのか。</li> </ul>
		<p><b>2 農業（農地）、林業（森林）とキャリングウォーター活動とのかかわりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水への恩返し活動を進めるに当たり、どんな過程で水が出来るのかなどの説明が少ないと感じるが、この点をお聞きする。</li> <li>○ 良い水を得るためには、農地の整備、森林の整備が必要だと考えるが、大野市の考えをお聞きする。</li> <li>○ 東ティモール共和国にも、このようなことが大切であると知らせる必要はないのか。</li> </ul>
		<p><b>3 県立第2恐竜博物館建設について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福井県は来年度予算編成に当たり、博物館の建設場所、建設費などを決めるとのことだが、このようなことについて、大野市はどのような考えをお持ちなのか聞きたい。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
梅林（天空おおの）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 地下水を飲料水として100年、200年、後世に残していくために</b></p> <p>○ 市長の願う「水の聖地との位置付けや水環境の保全という世界的な課題に貢献している先進的な自治体というパブリックイメージの確立」のためには、観光資源や食文化としての地下水、さらに70 餘りの世帯がわが井戸を持ち、大自然の恵みである地下水を生活用水とする暮らしがある全国にも数少ないまちであること。これらの環境が保たれ続けることが不可欠だと思われる。</p> <p>現在の市民の暮らしを長期にわたり維持していくために、（仮称）越前おおの水循環・湧水文化再生計画にどのように反映していくのか。</p> <p>○ 本市の水の恩恵を「当たり前」ではなく、「ありがたい」と思ってもらえるための具体的な施策としての二つの見える化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水の量の見える化として、わが井戸の地下水揚水機（ポンプ）への計測器設置への取り組みへの推進は。</li> <li>・地下水保全のためには財源も必要である。地下水揚水者へ、保全協力金的な見える化への取り組みの考えは。</li> </ul>
		<p><b>2 一般財団法人 水への恩返し財団について</b></p> <p>○ 一般財団法人として事業を行うメリット、デメリットは。</p> <p>○ 一般財団法人の将来的な見通しをどのように考えているのか。</p>
		<p><b>3 部活動について</b></p> <p>教員の負担軽減や生徒の健全な育成を目指し、部活動に関する総合的なガイドラインの策定に向けて、スポーツ庁は有識者会議を開催し、今年度中に運動部活動の在り方等についての指針を策定する方針を示した。</p> <p>そこで、</p> <p>○ 子どもの心身の成長を主眼とした部活動、休養日等に対して市教育委員会としてどのように対応しているのか。</p> <p>○ 部活動顧問の現状と課題は。</p>

質問者	質問方式	質問概要
<p>廣 田 （ 清 風 会 ）</p>	<p>一 問 一 答 方 式</p>	<p><b>1 大野市公共施設等総合管理計画について</b></p> <p>本年3月に大野市公共施設等総合管理計画が策定されたが、施設の稼働状況及び施設利用料等に関しては記載が無いので、下記3点について聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 稼働状況及び施設の利用者負担額の推移について</li> <li>○ 施設の複合化や効率的な運営の推進とは具体的にどのようなことを行っていくのか。</li> <li>○ 大野市公共施設使用料減免規則について聞きたい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度の減免額について</li> <li>・平成28年度の主な施設の利用状況及び利用料減免の状況について</li> <li>・減免対象となる利用目的が「営利目的を除く」以外に明記されていないが、具体的にどのような利用目的が対象となるのか。</li> </ul> </li> </ul> <hr/> <p><b>2 認定こども園について</b></p> <p>補正予算案において認定こども園の新設や改修などに助成する「保育所等整備事業補助」が計上されているが、下記3点について聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認定こども園と、保育園及び幼稚園との相違点は。</li> <li>○ 保育園及び幼稚園から認定こども園に移行する際の課題について</li> <li>○ 和泉保育園及び和泉児童センターを和泉小中学校に移転することでのメリットは。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
兼井（天空おの）	一問一答方式	<p><b>1 地方創生における行政の役割について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地方創生、地域再生のかじ取り役・責任者・主人公は住民、行政、議会、外部の専門家等、誰になるのか。それぞれの役割をどのように考えているか。 これまでの取り組みの成果と今後の課題は何か。</li> <li>○ これまでの①住民の行政への要望・依存型、②行政の善導型事業、③ハード重視の事業の限界を認識し、「市民の自立的な振興」が人口減少社会での最も重要な地方創生・地域再生のカギになる。 そのため、①ソフトの基盤整備、②行政の役割を生かした協働、③地域コミュニティの再生を進め、住民の手による持続可能な地域づくりを進めるために、住民が地域経営のかじ取り役・主人公であると自覚することが大切といわれているが、どう考えているか。</li> <li>○ まるごと道の駅拠点整備事業、化石発掘体験センター整備事業、文化会館整備基本計画策定事業、古民家ギャラリー整備事業や、キャリングウォーター事業等が進められているが、それぞれの事業のかじ取り役・主人公は誰になると考えているか。</li> <li>○ 地域の未来・希望を地域のみinnで話し合う環境・ソフトの基盤整備は、行政の役割であり責任と思うがどうか。</li> </ul>
		<p><b>2 子ども達が夢と希望を持てる大野市について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人口減少問題は、少子化によるアンバランスな人口構成が問題だと考えるが、少子化対策の取り組みの成果と今後の課題は。</li> <li>○ 全国の自治体の中では下記のような特色ある子育て支援によって2014年に出生率2.81まで回復している事例もある（大野市1.42）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・親の負担削減のため、第2子以降の保育料軽減は大野市も行っているが、対象となる家族の所得制限を設けず、さらに対象となる子どもの年齢期間を就学前ではなく、第1子が満18歳になるまで認める。</li> <li>・出産一時金（42万円）とは別に、出産祝い金として第3子の出産で20万円、第4子の出産で30万円、第5子の出産で40万円を自治体独自で交付し、子どもが多い世帯ほど恩恵を受けられ、親の所得制限なし。</li> <li>・医療費を18歳まで無料と、法定外の予防接種も無料もしくは一部助成とし、子どもが多い家族ほど医療費の負担増に対策</li> </ul> </li> <li>○ 少子化による人口減少、子どもが減ることは子育て中の人や若い世代だけの問題ではなく、子ども自身はもちろん、年金や介護に関わる世代、経済、地域で生活する全ての人の安全で安心な暮らしに関わってくることと捉え、子育て世代への徹底したサポートを強力に進めるべきと考えるがどうか。</li> </ul>

質問者	質問方式	質問概要
堀田（無会派）	一問一答方式	<p><b>1 公共施設等総合管理計画などについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共施設等総合管理計画について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の特徴は何か。</li> <li>・計画に沿った体制整備や財政措置について、本年度予算での対応は。</li> </ul> </li> <li>○ 公共施設について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の耐震補強工事の進捗（しんちよく）状況は。</li> <li>・再編計画で、現状維持とされた公共施設についても耐用年数を何年として、検討していくのか。</li> <li>・再編方針では、30年以上経過している施設が半数を占め、施設更新に必要な経費2032年度（H44年）までの20年間で約200億円以上必要と試算される。総合管理計画終了時から一般会計規模の更新費用が掛かることになるが見解は。</li> </ul> </li> <li>○ 橋りょうについて           <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設後の年数の分析は。</li> <li>・緊急に修繕を要する橋りょうの有無は。</li> <li>・設置から50年以上経過している橋りょうの本数は。</li> <li>・定期点検と補修工事の取り組み状況は。</li> <li>・長寿命化修繕の進捗状況と今後の進め方は。</li> <li>・河川中央に橋脚がある橋の本数は。</li> <li>・老朽化が懸念されるが、長寿命化と架け替えの判定は。</li> <li>・架け替え工事をどの段階とするのか。</li> <li>・豪雨時の対応は。</li> </ul> </li> <li>○ 上下水道事業について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少の影響や加入促進、水洗化率の向上改善、使用料金の確保などの課題への取り組み状況は。</li> <li>・農業集落排水処理施設について、今後の人口減少や収支見通しを踏まえ、施設の規模の縮小化やマネジメントについて、どのように行っていくのか。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>2 子育て支援について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合計特殊出生率について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の合計特殊出生率の数値は。</li> <li>・評価、感想は。</li> </ul> </li> <li>○ 子ども・子育て支援事業計画で、出生や婚姻の動向、家族や地域の状況など、子どもを取り巻く環境が変化していく中、2年間実施された大野市の「子ども・子育て支援事業計画」について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援についての市の特徴や、これまでの傾向の分析は。</li> <li>・点検・評価は。</li> </ul> </li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・計画や事業等の充実や見直しは。</li><li>○ 生涯学習施設において、託児サービスなどを利用できる取り組みは。</li><li>○ 地域・まちなか商業活性化支援事業について<ul style="list-style-type: none"><li>・この補助金を活用した実績は。</li><li>・今後の活用予定は。</li></ul></li><li>○ 「地域全体で子育てをする」という考え方についての見解は。</li></ul> |
|--|--|

質問者	質問方式	質問概要
榮 (日本共産党大野市議団)	一括質問・答弁方式	<b>1 国民健康保険の県単位化について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 進捗(しんちょく)状況について(具体的にどのように変化するかも併せて)</li> <li>○ 保険税の試算は各市町に示されていると聞くが。</li> <li>○ 市独自の裁量は認められるか(一般会計からの法定外繰り入れなど。納付金が不足するとき等)</li> </ul>
		<b>2 消防救急デジタル無線整備工事について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2017年2月2日公正取引委員会が「消防救急デジタル無線機器の製造販売業者に対する排除措置命令及び課徴金納付命令」を公表、236消防本部の中に大野市があるとのこと。大野市請負契約約款の50条及び46条の2との関連にどう対応されるか質問する。</li> </ul>